

風の又三郎 (1940)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ファミリー ファンタジー

製作国 日本

色彩 B&W

時間 98分

初公開日 1940/10/10

公開情報 日活

【解説】

俳優として活躍していた島耕二が、監督に転身して初めて制作した作品。原作は宮沢賢治の不朽の名作であり、その後も何度か映画化されているが、この作品が原作の雰囲気をもっと良く映像化していると評された。

風の強い9月1日、都会から転校してきたという少年が突然教室に現れる。彼の名は高田三郎だったが、4年生の嘉助は彼を「風の又三郎」と呼んだ。転校翌日、三郎は佐太郎にきれいな鉛筆をあげた。また国語の本を読み上げ、みんなの関心を集めた。ある日、川原で相撲を取っていた三郎は、投げ飛ばされた上「悔しかったら風を吹かせてみろ」とからかわれる。三郎が雲行きを見ながら風の歌を口ずさむと、急に強い風が吹いてきて暴風雨となってしまった。

【クレジット】

監督 島耕二

原作 宮沢賢治

脚本 永見隆二

小池慎太郎

撮影 相坂操一

出演 中田弘二

北竜二

風見章子

西島悌四郎

片山明彦

大泉滉

星野和正

小泉忠

中島利夫

林寛

見明凡太郎

杉利成

南沢昌平

河合英一

久見京子